

被災土地の利用計画は

関係機関と協力して進めたい

問 希望に満ちた郷土をつくりたいと考えている。草野球ができるようなグラウンドなど、町民憩いの場を整備する考えは。

佐藤町長 野球場などの施設は、被災していないので整備は難しい。緑地広場を多目的憩いの場として活用するのは可能。

問 多くの意見を聴く検討委員会等を考えているか。

沼崎復興推進課長 危険区域で買収できるのは住居であったところであり、虫食いの状態となっている。土地集約が先決であると考えており、現時点では検討委員会などは考える環境にない。

問 町づくりのチャンスであるが、町長は自分がつくる町づくりのため先頭に立ち土地利用計画を進める考えはあるか。

町長 復興大臣などに「被災跡地に係る土地利用対策の推進」ということで税法上の改善をお願いした。虫食いの状態の現状では委員会などを立ち上げることもできない。虫食いの状態、草ぼうぼうでは復興とはほど遠いものになる。関係機関と協力して進めたい。

学校給食の有無による教育環境の比較は

総合的判断が必要

問 文科省調査では、ほとんどの小中学校で完全給食を実施している。現在、実施していない本町の教育環境は他市町村と比較して優れているか。

佐々木教育長 教育環境について、給食を実施している学校がほとんどであることは了知している。総合的な面から捉えた場合、各団体により特色があり単純に比較できるものではない。

問 完全給食を実施していない市町村は特殊と違うが、県内を異動している教職員の意見は。

教育長 給食は生徒のため。その辺は理解してもらいたい。

問 生徒のためというのであれば、昼食時間に温かく、同じものを食べることはいいことであるが、教育現場で弁当を持ってこる子、持ってこ

ない子との差を教職員はどのように感じているか。

教育長 給食の良し悪し、要不要は別として、職員の観点から子供を知るといふ部分においては、もしかしたら給食より弁当のほうが家庭が見え、理解が進むのではないかと思う。

その他の質問

- ◆災害公営住宅の希望調査は、第2・第3希望までとっているか
- ◆ヨーロッパパラボヤの対策は検討しているか
- ◆いじめ防止基本方針の対応策は十分か
- ◆複式学級の把握はできているか



議員 清貴 関
(政和会)



区画整理事業予定の中央町

一般質問